

各学校の取組 尾札部中学校

7月6日（水）実施

縄文講演会

- 参加 全校生徒
- 連携団体等
 - ・ 函館市縄文文化交流センター
- 参加生徒の様子
 - ・ 地元にある垣ノ島遺跡について、以下、詳しく学ぶことができた。
 - ・ 居住区域とお墓のある区域が分かっていたこと。
 - ・ 石錘（せきすい）という、漁具として用いられた石器が見つかり、定住して漁のパターンを研究していたこと。
 - ・ 国内最大級の盛土遺構があり、パワースポットとして、最近、結婚式のイベントが行われたこと。



垣ノ島遺跡では、とても長い期間人々が定住し、高い精神文化を育みました。



外部との連携をとおして

学校だけでは、知り得ない
情報や、多くの知識を有しただけ
方からのご指導をしても有意義な
活動にたります。専門的な知識
活用をり得たり、地域の新たな
を発見する機会ではあるか
いままです。学校だけではな
か外部人材を探し出すこと
か難しい場合もあります。縄文
文化を更に発展していくた
にも、『縄文人材バンク』な
ど講演や講師などが整理さ
れ、学校が依頼などしや
うな取組が行われていけ
ば、活動の範囲も変わって
るのではないかと。

○寺島真寿美 様(縄文DOHNANプロジェクト会員)
6月30日(木):缶バッチ作成
・修学旅行の際に、昆布と一緒に配布できるよう、
南茅部限定カックー缶バッチを作成し、世界遺産
地域をPR。



○縄文発掘体験学習
10月13日【2年生】 10月17日【1年生】
縄文文化交流センターで発掘の仕方を学び、発掘体験を行った。
スタッフの方に指導をしていただき、発掘作業を体験しました。

